

Zoom Up

10月は食品ロス削減月間

食材の無駄を減らそう

ごみの減量に向けて市では、食べられずに捨てられる食品（以下、食品ロス）を減らす取り組みを進めています。食品ロスは、生ごみの多くを占めるため、一人一人が食品の買い方や使い方を意識、実践することで大きな効果があります。できることから始めてみませんか。

2022年度に市内の家庭から出されたごみの量は5万1014トで、21年度に比べ約千ト減っています。一方、燃えるごみに含まれる生ごみの割合は依然高く、多くは未開封食品や食べ残しなどです（左下欄参照）。市では3月に食品ロス削減推進計画を策定。市民や企業などにも協力を呼び掛け削減を進めています。

「てまえどり」でロス削減

22年の市民アンケートでは、「生ごみの中にどのくらい食品ロスが含まれるか」という質問に約70%が「1割程度」と回答。しかし、生ごみのうち約4割は食品ロスで、大きな開きがあります。

「てまえどり」という質問に約70%が「1割程度」と回答。しかし、生ごみのうち約4割は食品ロスで、大きな開きがあります。

循環型社会の実現に向けて

市では他にも、生ごみ処理機を購入する個人や設置をする事業者への費用の一部を補助するなど、食品ロスの削減に取り組んでいます（左下欄参照）。  
ごみは、私たちの生活の中で必ず発生しますが、食品ロスは買い物や残さず食べる意識、分別などで減らせます。みんなのできることから取り組みましょう。

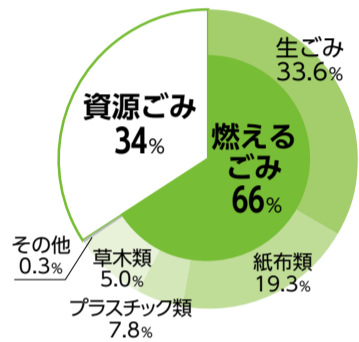
環境事業課 ☎225-2793



棚の手前から取ることによって食品ロスを削減

市内から出たごみの量 (2022年度)

家庭ごみ 5万1014トン



〈生ごみの内訳〉

|       |       |
|-------|-------|
| 調理くず  | 24.3% |
| 食べ残し  | 5.3%  |
| 未開封食品 | 4.0%  |

参加者募集 リサイクル施設見学会

市内で出された紙類を資源化している施設を見学してみませんか。環境事業課 ☎225-2793  
日 11月10日  
場所 コアレックス信栄株式会社・アサヒ飲料富士山工場（静岡県）  
対象 市内在住の方25人

無料

10月25日までに環境事業課へ。抽選。

水分量を減らして生ごみ削減

生ごみ処理機の購入費を補助

生ごみの排出量を減らすため、処理機の購入・設置費の一部を補助します。

個人

《対象》 市内に住居登録があり居住中で、居住地に設置して適切に維持管理できる方

《対象処理機》 家庭用生ごみ処理機（ディスポーザーは除く）

《補助額》 上限2万円（本体価格の5分の4）※1世帯2台まで

事業者

《対象》 市内に事業所を有する事業者または1年以上市内に居住し事業を営む個人

《対象処理機》 1日に10kg以上の処理能力がある生ごみ処理機

《補助額》 上限200万円（設置費用の3分の2）※1事業所1台まで



購入日から1カ月以内に環境事業課や環境政策課、市HPにある申請書を、直接または郵送で☎243-8511環境事業課へ。随時受け付け。



個人向けの詳細はこちら



事業者向けの詳細はこちら

設置前に直接、環境事業課へ。

環境事業課 ☎225-2793



新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は9月11日時点

国の方針に基づき、集団接種は縮小し個別接種を中心とした体制に移行するため、個別接種を検討してください。



詳細はこちら

令和5年秋開始接種

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した生後6カ月以上の方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

個別接種

《期間》 2024年3月31日まで 《場所》 市内約60医療機関 《ワクチン》 ファイザー・モデルナ

集団接種（12歳以上）

《期間》 10月18日～11月11日の12日間 《場所》 保健福祉センター 《ワクチン》 モデルナ

いずれも接種券に同封するチラシや市HPに掲載。

初回接種

オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

《接種場所》 個別接種を実施する市内医療機関（詳細は市HPに掲載）

《ワクチン》 ①12歳以上＝ファイザー・モデルナ

②小児（5～11歳）＝小児用ファイザー・モデルナ（6～11歳）

③乳幼児（生後6カ月～4歳）＝乳幼児用ファイザー

市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666